



午前10時0分 開会

○委員長（佐藤 武君） それでは、皆さんおはようございます。

ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

本日は閉会中の委員会ですので、特に市長、副市長、支所長には出席を求めておりませんので、御了承をお願いいたします。

また、換気のため、委員会室の出入口と窓については開いたまま進めさせていただきたいと思っておりますので、御協力をお願いいたします。

なお、光田税務課長が所用のため欠席との報告を受けておりますので、念のためお知らせをいたします。

新年度初めての委員会ということですので、人事異動のあった執行部職員の方について自己紹介を順不同でお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○財務部長（戸川邦彦君） 4月から財務部長の職に就かせていただいております戸川です。どうぞよろしく申し上げます。

○財政課長（原田幸子君） 4月から財政課長をさせていただいております原田と申します。よろしく申し上げます。

○管財課長（大窄暢毅君） 4月から環境課から管財課にやってまいりました大窄暢毅と申します。よろしく申し上げます。

○消防総務課長兼通信指令室長（檜原秀幸君） 4月から消防総務課長と通信指令室長を兼務となりました檜原と申します。よろしく申し上げます。

○赤坂支所長兼市民生活課長（小坂憲広君） 4月1日の人事異動によりまして、建設事業部から赤坂支所に異動になりました小坂でございます。よろしく申し上げます。

○監査事務局長（杉原 泉君） 4月1日付で中央公民館から監査事務局に異動になりました杉原と申します。よろしく申し上げます。

○総務部参事（橋本倫宜君） 岡山県警察本部から出向で来てます橋本倫宜といいます。棗田康雄の後にコンプライアンス推進室に配置になっております。赤磐市のために仕事をしていきたいと考えてます。よろしく申し上げます。

○議会事務局長（土井常男君） 私が最後になりますが、4月の異動によりまして議会事務局長を拝命いたしております土井です。よろしく申し上げます。

○総務部長（入矢五和夫君） 今、御挨拶させていただきましたメンバーを加えまして、今年度も頑張っております。どうぞよろしく申し上げます。

また、組織機構につきましては、総務常任委員会の所管部署について大きな変更はございませんが、総務課の情報管理班、こちらをデジタル推進班に改めまして、人員を増強して庁内DX等を進めていきたいと思っておりますので、申し添えさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

なお、小坂赤坂支所長、杉原監査事務局長、橋本参事のお三方については平常業務がござい  
ますので、ここで退席ということになりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

〔赤坂支所長兼市民生活課長 小坂憲広君 退場〕

〔監査事務局長 杉原 泉君 退場〕

〔総務部参事 橋本倫宜君 退場〕

それでは、これから協議事項に入りたいと思います。

1 番目、事業の進捗状況について執行部から説明をお願いいたします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 総合政策部の資料を御準備いただければと思います。

政策推進課から事業の進捗状況としまして3件、御報告させていただきたいと思います。

まず、ページをめくっていただきまして、1 ページでございます。

デジタルサイネージの設置についてということでございます。

デジタルサイネージというものでございますけれども、こちらは屋外、店頭、公共空間、交  
通機関など、あらゆる場所でディスプレイなどの電子的な表示機器を使いまして情報を発信す  
るメディア、こちらを総称してデジタルサイネージと呼ばれております。この手法を用いまし  
て、市役所本庁の市民コーナーに、来訪者の方に対しまして帰りの交通手段に関する情報をリ  
アルタイムで発信することを目的とし、公共交通の利便性向上に資することも併せ持ちまし  
て、デジタルサイネージを設置しております。掲載路線につきましては、赤磐市民バス、宇野  
バスの時刻表でございます。またお帰りの際にでもちょっと御覧いただければと思います。

続きまして、2 番の「G E O i n A K A I W A あかいはの大地」というマップの御紹  
介をさせていただきます。

お手元に、こちらのマップをつけさせていただいております。こちらは、令和3年度におき  
まして、赤磐市内の地質資源をまとめたマップを作成させていただきました。またゆっくり御  
覧いただければと思います。こちらは、旧備作高校跡地で活動されていますN P O 法人地球年  
代学ネットワーク、いわゆる j G n e t さんの御協力の下に作成をさせていただいておりま  
す。今後、こちらのパンフレット等を活用いたしまして、コロナの状況等も踏まえながら、例  
えばジオツアーですとか、そういうようなこともできればいいかなと考えております。現在、  
市内の観光施設、支所等に配置をさせていただいております。

続いて、3 番目、移住パンフレット「ええわあ、あかいは。」ということで、こちらのパン  
フレットもお手元にお配りをさせていただいております。

こちら令和3年度中に赤磐市の暮らしやすさを発信し、本市に対するU I J ターン等によ

る移住を促進するために赤磐市の移住関連情報をまとめたものを作りました。またゆっくりめくって、熟読していただければと思いますけれども、赤磐市に来ていただいている移住者の方々のリアルなお声、それから統計的なデータ数値などを活用して、客観的に市の実態を伝えることができるようにさせていただいております。こちらにつきましては、東京や大阪等の移住センター等に配置をするとともに市内の観光施設、それから支所等にも配置をさせていただいております。今後につきましては、移住相談会や移住イベント等でも活用していきたいと考えております。

総合政策部からは以上でございます。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

続けてお願いします。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 総務部資料を御覧ください。

くらし安全課から御報告をさせていただきます。

まず、1番目、消費生活センター相談状況についてでございます。

総務部資料の1ページ目を御覧ください。

令和3年度の相談件数でございますが、230件ございました。そのうち最も多く寄せられた相談につきましては、インターネット等の通信販売、こちらの利用によるトラブルに関しての相談が一番多くなっております。直近では、市役所の介護保険課の職員をかたりまして、還付金の詐欺といったものも相談を寄せられております。赤磐警察署に確認をしたところ、実際に赤磐市内、赤磐署の管内でございますが、被害も発生しているというところでございます。

続きまして、2番目、令和3年度高齢者踏み間違い急発進抑制装置整備費補助金についてでございます。令和3年度、11件で67万1,000円の補助を行っております。

次に、3番、令和3年度特殊詐欺等防止対策機器設置補助金につきまして、4件、1万7,900円の補助を行っております。

2ページ目に参りまして、4番としまして、新型コロナ対策衛生用品の配布事業についてでございます。

まず1番目、マスク・アルコール消毒液の無料配布事業でございますが、4月20日現在で、マスクにつきましては4,572箱、手指の消毒用アルコールにつきましては4,565本の配布を終えております。2番目としまして、抗原定性検査キット無料配布事業、こちらは薬局を通じての配布となっておりますが、4月9日現在で3,337回分の配布を行っております。

5番目ですが、赤磐市防犯灯LED照明導入業務についてでございますが、プロポーザルを終えまして、業者を決定しております。業務内容につきましては、市内の管理灯、主に道路照明でございますが、こちらをLED照明に切り替えるものでございます。契約方法は随意契

約、公募型プロポーザルで行っております。契約期間は令和4年3月31日から令和14年3月31日までとなっております。契約金額は5,759万8,900円、契約相手は中銀リース株式会社・カジノン株式会社共同企業体でございます。

総務部からの御報告は以上です。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） それでは、財務部の報告に移らせていただきます。

事業の進捗状況ということで、管財課から御説明をいたします。

財務部の資料の1ページをお願いいたします。

まず、庁舎等整備事業におけます全体スケジュール案について、現状の御報告をさせていただきます。

本事業につきましては、昨年度より令和6年度末の完成を目指し進めているところでございますが、現在は引き続き仮移転先、旧消防本部庁舎、赤坂及び熊山支所などの整備を実施しております。7月末にはこの整備を終え、9月頃から市役所本庁舎の東側の整備工事、1期工事に着手する予定でございます。

この庁舎東側の工事が完了した段階で、それに続き庁舎西側の工事、2期工事になりますが、こちらに来年7月頃から着手し、令和5年度末に完成、おおむね令和6年度中には中央公民館及び山陽保健センターの整備を完了する予定としております。

なお、サーバー、ネットワーク関係及び防災機器や電話など通信設備につきましては、仮執務室への移転と併せて9月には完了し、必要な設備につきまして1か月程度の安定稼働確認期間を設けております。

工事の施工に伴う庁舎の仮移転等につきましては、所要の窓口や執務室等、業務の移転を工事の進捗に合わせ、円滑にさせていただくものと考えております。

それでは、次の2ページをお願いします。

先ほどの全体スケジュールの中から令和4年度、今年度の予定をもう少し詳細に御説明をさせていただきます。

資料は上から順に項目ごとに御覧ください。

まず、1番目の仮移転先の改修につきまして、旧消防本部庁舎については7月11日まで、赤坂支所及び熊山支所は近く完了する見込みでございます。なお、熊山支所につきましては、その後、議場設備の整備を行う計画としております。

2番目の市役所本庁舎につきましては、6月、7月にサーバー室、防災無線室の改修を行い、機器の移転に備えてまいります。本庁舎の改修工事につきましては、議会におきまして契約締結に伴う議決をいただいた後、東側の第1期工事に着手してまいります。

3番目のサーバー及びネットワークの移転につきましては、現在もネットワーク等の管理業

者と協議を進めておりますが、機器の安定稼働の確認を含め、10月には整備を完了する予定で  
ございます。

4番の設備工事及び物品調達につきましては、本庁舎1期工事に伴います5番の各執務室等  
の仮移転までに主なものを完了する予定でございまして、5番、庁舎の仮移転、こちらにつき  
ましましては、作業を8月、9月に完了し、来年7月頃までこの形態を維持してまいりたいと考  
えております。

なお、この庁舎仮移転につきましては、市民サービスの低下や円滑な業務遂行への影響を可  
能な限り抑えるということを念頭に、現在も関係部署と綿密に協議を重ねております。

詳細につきましては、今後、当委員会に御報告をさせていただき、丁寧に市民の方への説  
明、周知、協力等のお願いをしてまいる所存でございますので、よろしく願いいたします。

管財課からは以上でございます。

○消防総務課長兼通信指令室長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長兼通信指令室長（檜原秀幸君） 消防本部資料を御覧ください。

事業の進捗状況について報告させていただきます。

通信指令室からは、高機能消防指令センターシステム整備事業が3月16日に完成しましたの  
で報告させていただきます。

議員の皆様にはパンフレットをお配りしています。

稼働中のシステムはトラブルもなく正常作動しております。

また、通信指令室のオペレーターは、119番要請者に最善の判断と対応ができるよう技術を  
高め、出動態勢を含めた無線統制や部隊運用ができるようシミュレーションを繰り返し、毎日  
訓練を行っています。

続きまして、消防総務課からは、令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使  
用させていただき、職員仮眠時の感染防止のため、東・北出張所の仮眠室をアルミの仕切りで  
区切らせていただきました。コロナの関係で部材の納品が遅くなり、工期が遅くなりましたが、  
完成いたしましたので報告させていただきます。表紙裏に写真を添付しております。

間仕切りにより、職員同士のソーシャルディスタンスが確保でき、仮眠時のマスク着用から  
開放されましたのは、皆様の温かい御理解があつてのことと感謝いたしております。

以上でございます。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

それぞれ事業の進捗状況の説明をしていただきました。

まとめて質問があればお受けしたいと思いますので、質問があればお願いします。

大口委員。

○委員（大口浩志君） まず、政策推進課のチラシ2つの中で、多分編集されたときにはそご

がなかったんだと思うんですけど、まずはちょっと気になったのが、1ページのところで、市内に産婦人科がないということ、その当時のお答えとして書かれとんですけど、もう御存じのように5月になったら1件できることも伝わっております。それと併せてですけど、こういったものが総務管轄に限らず、物すごい量がパンフレット、チラシの類いが赤磐市だけでも種類が出てるとは思いますけど、取りあえずこの2つに関しては、ホームページへすぐリンクするようなイメージで捉えとけばいいんですかね。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 1ページのところで、インタビューをさせていただいた当時は産婦人科さんがいない。この5月に馬屋にある片山産婦人科さんがまた開院されるということでした。ですので、ちょっとタイムラグが生じているということで、大変申し訳ございませんでした。また、これがインタビューの中での話なので、なかなか修正できるかどうかはちょっと今の段階では言えないんですけども、また増刷するような段階がありましたら、逐次訂正できるところは訂正していきたいと思っております。

それから、確かにこれはアナログのパンフレットを作らせてはいただいているんですけども、今の時代ですから、ホームページにこちらのデータを掲載させていただいておりますので、こちらに来られなくても見れるというような状況に、移住のパンフレットもそうですし、こちらのジオのパンフレットもネットで配信するようにさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

○副委員長（安藤利博君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） デジタルサイネージ、私も初めて聞く名前なんですけど、ちょっとこの前、見せていただいたんです。非常に面白いのがあるんだと、びっくりしました。ちょっと見て、そのとき気がついたんですけど、右側の現在地、バス停を表示してる、番号がついてるところですけど、見慣れれば構わないかも分かりませんが、切替えが非常に速くて、私見て追いつかなかったんです。それから、右下で瀬戸線の表示かと思うんですけど、これがちょっと分かりにくいというか、4番だけが離れてます。その辺がちょっと見づらかったなということがあって、その辺が修正できるのかどうか。それと、これは費用的には何か相当かかるんでしょうか。ちょっとその辺が分かりましたら。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 既に御覧いただいているということでありがとうございます。

実際にこちらは、市で直営でさせていただいているということでございます。ですので、費用等はインターネットの接続使用料につきまして毎月お支払いをさせていただいておる金額が4,380円なんですけれども、こちらが年間要るといいますので、5万3,000円程度の費用でできております。ということで、直営でさせていただいておりますので、例えば切替えの時間をもう少しスパンを長くするとか、また表示の4番のところがちょっと分かりにくいと、これが少し場所が離れておりますので、市役所のところをフォーカスしてるんで、もう少し引きの画面にするというような調整はできますので、貴重な御意見ありがとうございます。調整をさせていただきたいと思います。

以上です。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 総務の消費生活センターの相談状況が数字だけは下がってんですけど、この数字についての推移をどのように見ておられるのか、まず教えてください。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 確かに令和2年、令和3年と相談件数自体は下がっておりますが、これはコロナの関係で緊急事態宣言、あるいはまん延防止の重点措置の期間中、センター窓口での相談を止めておりました。電話相談のみにした時期がこの緊急事態宣言等にあわせてございますので、その影響が若干あるのではないかというふうには考えております。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） それとともに、よく最近ちまたで言われとるのが、少額の詐欺については気づいてない方がたくさんおられるんじゃないかなというようなことも言われとるようですけど、その辺のことも含めて、また啓発、そのほかいろんなアレンジが、もうそれこそたちごっこになってくるんだと思います。新しいのがどんどん出てくるし、10年たったら、10年前のやり方がまた、はがきが送られてきたりというようなことになっていきますので、なるべく市民の方々がということで、啓発を全部しろと言ったら正直難しいとは思いますが、またいろんなアレンジで取り組んでいただけたらと思います。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） ありがとうございます。啓発もコロナということで、そのせいにばかりしてはいけないんですが、やはり地区へ出向いての出前講座、これが令和2年、3年と、ほとんどできていないのが実情です。これが徐々に再開されてくれば、いわゆる細かな啓発というのがこれまで以上にできるのではないかと考えております。今は

警察と協力をしまして、ホームページや広報等での啓発ということにとどまっておりますので、できるだけ今御意見いただいたような啓発については行っていきたいと考えます。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今度はLEDのほうなんですけど、ここに契約期間の終わりが明記されとるんですが、こういったLED照明の場合は、リースといたら、契約期間が満了したら完全に撤去もしくは再リースというのが、大きく言えばオーソドックスには2つかなと思うんですけど、こういったものは満了された後はどういう方向のパターンが多いんですかね。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 今回のこの契約につきましては、契約期間満了後は全て器具については赤磐市に寄贈といたしますか、渡していただくようになっております。そのまま使える限りは使うということになっております。近隣他市の事例も恐らくそういう契約になっているのではないかと思います。

以上です。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 古いものを譲っていただくということに関して、特に上のほうにぶら下がってるので、その辺の心配が10年でどれぐらいのものなのか、ちょっと分からないですけど、その辺のことも契約がどうなるとるかちょっと存じませんが、その辺に対する配慮も併せて考えていただけたらと思います。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） おっしゃるとおりです。LED照明の耐用年数というのが、おおむね10年というのが一般的だそうです。したがって、この契約が満了した頃にちょうど球切れというようなことが起きてくるのではないかと思います。ただ、一斉に起きるかどうかというのはちょっと分かりませんので、おっしゃられるように万が一ですが、今回設置約300灯になりますが、球切れが頻発するような状況があるようであれば、そのときに改めて一斉に器具を交換しての再リースというような、そういったことも検討する余地はあるかなと考えております。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） ほかにございますか。

○副委員長（安藤利博君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） くらし安全課の2番の踏み間違いの装置なんですけど、これは実

績なんですけど、この前、例の池袋の事件からちょうど3年ということがありましたけど、その頃は非常に関心が高くて、だから令和2年度とかはもっと件数が多かったんじゃないかと思うんです。ちょっと今、関心が薄れて、少なくなっているのかなと思うんですけど、私の町内で見ても、本当に二、三人はもう免許を返納されたほうがええかなというような方も見受けられます。そういった方について、返納前でもこういった踏み間違い装置をつけられたらいいと思うんです。この前、広報あかいわにも広告ですか、載っておりましたけど、それ以外の機種もいろいろあると思うんですけど、そういったやつをもっと皆さんに周知するというか、そういった手段ももう少しやっていただければ、今年度の予算にも当然入ってたと思いますけど、もっとたくさん、高齢者は自分ではなかなか意識しづらいんですけど、もう事故が起こった後では間に合いませんので、その辺は積極的にもちろんやっていただいていると思いますけど、取り組んでいただければと思います。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） おっしゃるとおりです。令和2年度が27件で93万7,000円の補助の実績でございます。それに対して令和3年度が11件で67万1,000円です。この要因の一つは、国のサポカー補助金というものが今年の11月で終了いたしました。それも一因ではないかなと。つまり、国のサポカー補助金を受け、さらに市の補助を受けということで、二重の補助が受けられるということで、その期間までに積極的につけられた方が多かったんじゃないかなというのが、この令和3年度がやや減少した理由の一つかなとは考えております。なので、今安藤委員がおっしゃられるように、今年度につきましては先ほどの消費生活センター等もそうですが、コロナの状況を見ながら、なるべく積極的に啓発ができたかなとは考えております。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 保田委員。

○委員（保田 守君） この工事のスケジュールをちょっと言われたんですけど、これは一応熊山の議会が6、7月ぐらいで設備をやるということじゃと。議会自体が委員会もひっくめて引っ越しするというなら、いつ頃になるんですかね。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 熊山支所の設備整備につきましては、先ほど御説明のとおり4月の末までで、その後、議場の設備、併せて雨水対策でありますとか、その辺は今現在しているところでございます。

御質問のいつ頃というのは、一応めどとしましては9月の定例会をあらで、もしくは委員会も常任委員会等もそれに合わせて移動してまいると、今のところ考えております。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） よろしいですか。

○委員（保田 守君） 結構です。

○委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

○財務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 戸川部長。

○財務部長（戸川邦彦君） 先ほどの説明に補足をさせていただきます。

一応期限としましては、9月議会が、本会議が熊山支所で開かれるように移動を考えています。ただ、いつからということに関しては、これから整備します議場の設備類がそんなに大きなものを持っていくわけではないので、発注してから1か月程度の工事で、いわゆる議事録の設備とか、映像用のカメラとか、そういった設備を持っていく工事がどうしても必要になります。それが6月、7月を想定していますので、それが調いましたら、一応熊山支所を使える状態にはなるというところで、その辺でまた議会事務局とも相談しながら、その引っ越しの段取りは進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） ちょっと委員長を代わってもいいですか。

〔委員長交代〕

○副委員長（安藤利博君） 佐藤委員長。

○委員長（佐藤 武君） 今、熊山支所の議会の改修という話が出たんですけど、照明設備については改修はしないと視察のときに聞いたような気がするんですが、それはどうなる予定ですかね。というのが、やはり照明が暗かったら非常に見にくいんで、そのあたりがどういう配慮があるのかなと思うんですけど。

○財務部長（戸川邦彦君） 副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 戸川部長。

○財務部長（戸川邦彦君） 今、熊山支所の修繕工事の中で、議場の中にこうこうと明るい照明とまではいきません。ただ、下へ落ちるダウンライトみたいな形で補助の照明をつけさせていただきましたので、現状よりは明るく使えるかなと想定しています。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございました。

引き続き、質問させてください。

○副委員長（安藤利博君） 佐藤委員長。

○委員長（佐藤 武君） くらし安全課で、ちょっと件数も出てたんですけど、いわゆる消費

生活の相談状況なんですけれど、結構件数も多いという状況の中で、いろんな相談内容があると思うんですけれども、センターで相談対応できないような、非常に深刻な状況もあると思うんですが、そういう相談があった場合の御案内というか、それはどうなってるのか、ちょっと教えていただけますか。

○くらし安全課長（岡本和典君） 副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 今おっしゃられたような案件につきましては、例えば市の無料法律相談を紹介させていただいたり、もちろんこれは事件性が高いというものについては警察へ相談をしてくださいという御案内はさせていただいております。本当にこれは詐欺だというようなことが明らかな場合は、市役所からも必要に応じて警察等へ相談、情報提供はさせていただきます。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

じゃあ、代わります。

〔委員長交代〕

○委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今のお聞きしながら、先ほど新年度から新たに警察から出向で来ておりますという御挨拶があったんですが、先ほどの委員長の御質問も含めて、具体的に一応コンプライアンス推進室の所属のようなことを御本人はおっしゃってられましたが、具体的にはどういう仕事を赤磐市としてはお願いをして、どういう仕事をやっていただけるような認識でおったらいいかを、別に今回初めて来られたわけじゃないんですけど、改めてちょっと教えといていただけたらと思いますが。

○総務部長（入矢五和夫君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 入矢部長。

○総務部長（入矢五和夫君） コンプライアンス推進室の室長も兼ねさせていただいておりますので、私のほうからお答えさせていただきます。

警察から職員を派遣いただいております。当然庁舎内での不当要求と申しますか、大きな声を出される方もおられますので、そのあたりの対応もお願いしております。また、全体的にこういう場合はこういう対応をしたらいいというような助言もいただいたりして、トラブルがあった担当課と相談をしながら進めております。

また、警察との連携、情報の共有というか、当然言えないことは言えないんですが、必要な情報等は間に立っていただいて、連絡をさせていただいてる部分もございます。

また、コンプライアンスの関係で法令遵守、そちらの指導やアドバイスもいただくようなことをさせていただいているところです。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） よろしいですか。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐藤 武君） ほかにないようですので、事業の進捗状況についての質問を終わります。

続きまして、2番目のその他に入ります。

その他について執行部から説明をお願いします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 総合政策部の資料2ページをお開きいただきたいと思えます。

その他、2ページといたしまして、赤磐市民バス車内における事故について御報告をさせていただきます。

令和4年4月1日金曜日午前10時頃でございます。赤磐市山陽6丁目地内のバス停付近におきまして、市民バスの山陽団地線でございますが、女性のお客様が乗車された直後に、こちら写真をつけさせてもらっておりますが、バスの進行方向に対しまして横から進入車両が勢いよく出てきてしまったということで、急停車をいたしました。急停車をいたしましたので、利用者の方が座席から落ちまして、負傷をされてしまいましたということでございます。

事故の原因といたしましては、シートベルトの着用の声かけが十分できていなかったということでございます。おけがをされた方につきましては、病院で運行委託事業者とともに私と担当でおわびをさせていただいております。けがの状況といたしましては、経過観察として週1回通院をされている状況でございます。今後、再発防止に努めるようにシートベルトの着用確認を徹底するように指導をさせていただいております。誠に申し訳ございませんでした。

簡単ではございますが、以上でございます。

○委員長（佐藤 武君） 続けてお願いします。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 総務課から、その他について御説明いたします。

総務部の資料と別冊としまして赤磐市定員管理計画をお配りしております。

まず、(1)市役所宿日直業務の民間委託について御説明いたします。

資料は特にございませぬ。

現在、予算の議決をいただきまして、市役所庁舎の夜間休日の管理業務につきまして、令和4年10月から民間委託する予定で作業を進めさせていただいております。その調整の中で、こ

れまで現在のところは埋火葬許可証、火葬に関する許可証を24時間365日発行できる体制を整えて発行してまいりましたが、10月からは時間が午前8時30分から午後7時までの発行ということで調整を進めさせていただいております。といいますのが、夜中12時頃、埋火葬許可を取りに来られる方はおられんということでございますので、日中だけ対応させていただくということで調整をさせていただいております。その他、電話がかかってくる、その他戸籍の届出の受付時間などについては、24時間365日受け付けるということなんです、埋火葬許可の関係だけちょっと時間を日中に限らせていただくということで調整をさせていただくとという御報告です。確定しましたら、広報紙などを使いまして、また周知をさせていただきますので御協力をよろしくお願いいたします。

続きまして、(2)定員管理計画につきまして策定しておりますので、お手元にお届けさせていただくものでございます。

この計画では、前の計画であります令和3年4月現在の定員目標を489人としていたものを、ちょっと計画書の5ページを御覧いただきまして、令和8年4月1日現在の定員を484人ということで、5年間で5名の削減を目標とさせていただいた計画としております。これから始まります定年延長制度などもございまして、大幅な削減とは至っておりません。詳細につきまして、後ほど御覧いただければと思っております。

この委員会終了後になります、他の委員会に所属されております議員さんにもお届けしたいと思っております。併せましてホームページでの公表も予定させていただいておりますので、御報告させていただきます。

総務課からの説明は以上となります。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

○消防総務課長兼通信指令室長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長兼通信指令室長（檜原秀幸君） その他で、消防総務課と警防課からコロナ臨時交付金の事業予定と各地区消防施設整備予定事業をお知らせいたします。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の予定の1つ目は、東・北出張所コロナ感染症対策、手洗い器改修事業でございます。

これは、救急隊の感染防止対策として、現場からの帰所時に水栓レバーや蛇口ハンドルに触れることなく、非接触で手や指の洗浄が実施でき、職場内での感染リスクを軽減するため実施を考えております。

2つ目は、東・北出張所コロナ感染症対策、トイレ洋式化改修事業でございます。

トイレを和式から洋式化することで、排せつ物を流水で流す折、ウイルスの飛散が防止され、感染拡大が抑制されます。また、公共の施設としての位置づけであり、有事の際、高齢者にとって使用しやすい施設とするためでございます。

続いて、警防課が予定しておりますのは自動心臓マッサージ器購入事業でございます。

救急隊は常にコロナ感染症のリスクにさらされているわけですが、生命に危険が迫っている場合、コロナ感染者の有無にかかわらず、蘇生措置を実施いたします。その折、隊員が傷病者に直接胸骨圧迫を行うため、コロナ感染者であれば、傷病者が排せつする呼気を隊員が吸入し、感染リスクが非常に高くなります。このような場合に自動心臓マッサージ器を使用することで、直接傷病者の呼気を吸入することが少なくなることから、感染リスクを低減できるため、購入を予定しているものでございます。

続きまして、各地区消防施設整備事業についてでございます。

30年経過した坂辺区の軽四ポンプ自動車と小型動力ポンプの更新を予定しています。

西軽部区からは、コミュニティハウス建築に伴う開発行為の関係で水利が不足しているため、防火水槽の新設を予定しております。

以上でございます。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

その他について説明がありました。

これについて質問があればお願いします。

保田委員。

○委員（保田 守君） この事故のことを聞きたいんですけど、ここの進行方向を下から上へ上がっていきよって、こっちから進入車両が出てきとる、ここは一旦停止がある場所でしょう。あっこへ飛び出してきたというたら、一旦停止せずに来たということでしょう。で、そのまま逃げてしまったわけ。その車両の方が、片一方が当たりそうになったら、止まって、御迷惑かけましたぐらいは言うてくれたんかなと思って。たしか飛び出したらおえんというか、急に飛び出す場所じゃないように思うんですけど、その辺の事情はどうなんでしょうか。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 御案内のとおり、こちら一時停止の箇所でございます。ですが、一時停止を無視して、びゅっと来られて、すっと通り過ぎてしまったということでございます。特に御迷惑をおかけしましたというようなお話もなかったということでございます。

○委員長（佐藤 武君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 何か私の住んどるそばですけど、マナーが悪いと。こういうことがあって、反省してもらおうように、事故がないようにしていきたいと思っておりますので、ありがとうございました。

○委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今のに関連してですけど、赤磐市もしくは運行管理者、それからおかけをされた方、みんながつらい事象だったかなと。例えば、先ほどシートベルトのことも触れ

られておりましたけど、急ブレーキを踏まれたら、仮にシートベルトといっても多分バスだったら腰だけのやつになろうかと思えます。目の前の取っ手のところに口をぶつけるだけでも、かえってひどいことになったりもすると思えますので、その辺の手当てと、例えば今、市民バスにドライブレコーダーはついてるんですかね。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） まず、シートベルトの件ですけれども、私も時々利用状況とかを調べるために乗らせていただくんですけれども、シートベルトはちゃんとこういう感じで、胸も押さえるようになっておりますので、ちょっとこの事故のときにはそれができていなかったということです。これを斜めがけができていれば、もう少し事故のけがの具合も少なくて済んだのかなというような反省がございます。

それから、ドライブレコーダーはつけてはおりますので、この件だけでなく、いろんなことでお問合せいただいたりするときに、確認はさせていただくようにしております。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） この事例は、逆に今までよくなかったんだなというような事象かなと、おかげさまで。ですけど、基本的には市民バスはちょっと足腰が弱られた方が多分利用されるのが大半だと思います。もしかしたら、こういったことの頻発が、運転手さんとしてはもうぎりぎりのところで安全を確保していただいたというようなことで、何か運行委託されとる方が何かだんだん切ないことにならなければいいかなというような部分も含めて、なかなか100%の施策、シートベルトをしてもらわないと発車できないということになると、身近な、年寄りにシートベルトをしろと言っても、なかなかできん言うて、5分ぐらいすぐかかっちゃうような状況もあるし、運転手がしに行くというのもなかなか現実的ではないのかなという部分も含めて、車内のクッション性ですとか、顔をぶついたりしても別になるべくけがが起らないような手当てであるとか、そういったものも含めて、仮に起こったとしても大ごとにならないようなアレンジをしてあげていただけたらなというふうをお願いいたしますが。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 実際、私が最近乗ったときには、御高齢というか、御婦人方がたくさん乗っておられて、なかなかどういうふうにも、どこかなというようなんで、時間はかかっておられました。何人かお友達が乗られたりしているようだったので、お友達同士でここですよというので御指導していただいたりということでしたが、やはりシートベルトはしていただかないといけないので、時間はかかるんですけれども、まずはそれは乗られる方にはお願いしたいと思います。

それから、車内の安全性の確保ということについては、おっしゃられたように何かクッション性のあるようなものとかが導入できるようでしたら、導入をしていきたいと思います。ですので、乗られる方にも御協力いただきながら、市も運行事業者も安全に運行できるように努力していきたいと思います。このたびは大変申し訳ございませんでした。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 重ねてになりますけど、この運転手の方は事故を避けられて、今一時停止とかありましたけど、交通事故じゃないんで不幸中の幸いですけど、その運転手さんは多分もう分かってるんですけど、ほかの運転手さん、あるいはほかの委託先の事業者さんに、現実にかようなことがあったんですよということを、やっぱり頭で考えるより実際にあったよということを知らせていただいて、私が見ても路線バスの運転手さんと市民バスの運転手さんの運転の仕方、正直言って違うと思ってます。片やタクシーの運転手さんですから、運転には自信を持っておられる方なんで、だけど市民の方を乗せてる公共交通だという意識を持っていただいて、自分のタクシーに乗ってるふだんより、市民バスの運転のときにはもっと一段慎重にやっていただきたいということ、もちろん今までもされてると思いますけど、こういう事例があったんで、これを捉えて、改めて各事業者さんに周知していただく、シートベルトもちゃんとさせていただいてから発車するというのを、このチャンスを捉えて、不幸中のあれですけど、活かしていただければと思います。よろしくお願いします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 御指摘いただきました件、今回は1つの事業者さんですが、市内の市民バス、それから広域路線バスを運行されている事業者さんに対しまして、今回の件を踏まえ、さらなる安全運転に努めていただくようお話をさせていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） ほかにございますか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 定員管理のことでちょっとお尋ねしたいんですが、今、前の記憶を思い出せば、平成18年4月1日、4ページですね、603人と、こういう人数が載ってんですが、その人数はどうも記憶と合ってんですが、10年間で200人削減するというような合併時の案だったと思うんですが、その案をつくった内容と、それから今の現状の、定員が多く必要な内容についての考え方の違いはどのようところが違うんでしょうか、ちょっと教えてほしい。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 200人少ないという数字を、私はちょっとすいません、今ぱっと思いつかないんですが、1ページにございますように、平成18年から定員管理計画を策定しまして、現在のところ、その定員管理計画どおり削減し、115名の削減ということで定員管理計画をさせていただいてたつもりです。ちょっと200名というところは……。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 私の記憶がちょっと違うとんか、書物を見て今言ようるわけじゃないんで。たしかそういう400少々という人数にまで削減できるという説明だったと思うんです、当時。ですから、こういうことはあんまり口にするもんじゃないと思うとるから、あまり言いたくないんですが、合併当時の事業計画として考えとったことと今の現状が幾らか違うと思うんですよ、事業も増えたり、いろんなこともあるから。じゃから、その合併のときに見えなんだ部分で、必要な部分というのめたくさんあると思うんで、そういう部分が示せれるような状況があるんなら、示していただきたいと思うんで、100%僕が言ようるんが正しいと思わんようにしてください。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 合併してから事業というのは増えたり、減ったりしとると認識しております。現在の業務を比較しますと、この定員管理計画、先ほど御説明しました令和8年で484名ということが、業務量から換算しても今のところ適正であると判断して策定をさせていただいております。現在もまだワクチン接種等も続いておりまして、そういう部分で人が必要だということもあります。また、定年延長もございまして、定年が65歳になるということがあります。そういったことも勘案しまして、484名ということで策定をさせていただいておりますので、このことで御理解をいただきたいと考えております。よろしく願います。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） ここの中で、財政的な必要性に迫られた部分もありましたが、その反面、急激な職員の減少は多くの弊害という、この弊害というのはどういう部分でしょうか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 分かりやすいのが、2ページを御覧いただきましたら、上段へ職員数の推移ということで載せさせていただいております。その中へ定員管理計画、年度ごとの定員数について表示させていただいておりますが、予定より3月末に多くの退職者が出た年がございまして、そうしますと、当然ながら翌年度採用が間に合わないということがございまして、職員の時間外勤務とかが増えて、そこへ職員にしわ寄せがいった年がございましてということで、現在は、1ページへ書いとんですが、中段、ワーク・ライフ・バランスということも最

近聞く機会が多くなつておもうと思います。時間外勤務などの時間も一定の部分を超えないようにという指導が多く来ておりますので、そういうところを重視しながら、定員も多くなならないようにということを考えまして、今こういう定員をさせていただいた状況でございます。

答えになつてどうか分かりませんが、以上です。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 私の認識としては、恐らくある程度予定どおりの削減をやってきたんじゃないかと思うんですよ。その中で消防組合が職員に80名ほどだったと記憶してんですが、それが大体加わったから、今の480人という形になつたんじゃないかなと想像してんですが、そういう考え方でよろしいんですか。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 確かに消防職員さん、平成17年の段階ではまだ組合員さんでしたので、加入されておりました。その人数が68名おったということはあるので、そういう意味からいいますと、下山委員の御記憶で言う400人という数字に近くはなるということになるんですが、今そのことがはっきり私のほうで回答ができません。申し訳ございません。

○委員（下山哲司君） 結構です。

○委員長（佐藤 武君） ほかにございますか。

安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 職員さんの数というのは非常に大事だと思うんですけど、これはどこの部署で、どういった手順でつくられてるんでしょうか。私、初めて見させていただくんですけど、非常に大事な計画だと思うんです。ただ数字だけが独り歩きすればいいというものじゃなくて、市役所の業務の市民サービスの中身と、それに対応する職員さんの数と、これのバランスだと思うんです。ただやみくもに減らせばいいというものじゃなくて、必要などころにはやっぱり人材を投入しないといけないと思うんです。それをほかの計画ですと、いろんな委員会さんとかいろいろされてますけど、そういった形跡はあんまり感じられないんですけど、非常に基本的というか、市の業務の中で大事な計画、これが何かちょっとこう安易なと言ったら失礼になりますけど、どのあたりまで検討されてる、あるいは今ですとDXじゃないですけど、業務内容も変わってきますけど、そのあたりはこれに織り込まれてるのかどうか。

これ、グラフを見せていただくと、今の48歳から49歳あたり、26名、だから年間ですと13名ぐらいいらっしゃるんですけど、この5年間ではこの方はまだ退職になりませんが、継続的に人材を確保していくという、確保という表現はまずいですかね、市役所の職員は必要だと思うんですけど、そのあたりやっぱりもっと詰めてといいますか、大事な計画なんだと思うんですけど、ちょっと抽象的で申し訳ありませんけど、そのあたり差し当たって考えられるのは、今言うDXで市役所の業務が多分大幅に変わってくるとおもうと思います。市役所に出向いて対応しないといけないということなんかは大幅に減る、オンラインで申請するとか、そういったこ

とも増えてくると思うんですけど、そうしたことを踏まえた計画になってるのかどうか、その辺はいかがでしょうか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） まず、この計画の策定につきましては、この策定をするに当たってまして委員会等というか、外部委員さんとかを集めて会議を開いてしたものではございません。内部的にヒアリングを行って、どういった業務が今後発生するか、そういうことはある程度考えながら、この計画というのは策定をさせていただいております。最終的には、そのものが含まれているのかということですが、含んだ形で、各部署、セクションにはある程度ヒアリングをさせていただいてるということでございます。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） 5ページにも定員管理に関する方針ということで、いろんな職員が必要だというのは検討もされてたという説明がありますけれど、これを読んでいただいてという部分があるのかなと思います、どんなですかね。

○副委員長（安藤利博君） この場ですぐ議論がまとまらないと思うんです。だから、ある程度は、例えば外部委託とか、アウトソーシングされますけど、これ数字上、職員さんの数が減っても、実質外部に委託しておれば、隠れ人件費じゃないですけど、そういったことになるんで、そういったことじゃなくて実質的に効率を上げて、市民のためのサービスを向上させる、限られた人員で対応していくという中身を、もちろんそういうことをされるんだと思いますが、形だけ、数字だけが独り歩きすることのないように、ぜひお願いしたいと思います。

○委員長（佐藤 武君） 要望ということでいいですか。

○副委員長（安藤利博君） はい。

○委員長（佐藤 武君） よろしく申し上げます。

ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐藤 武君） ほかにないようでございますので、委員さんから何かありますか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） その他なんじゃけど、うちの所管じゃねえんじゃけど、いつも通ってくるとこの、まだ松の木が処分されてねえんで、産建のほうではやったださっとんかな、話を。すぐ倒木になるわけじゃないんじゃけど、あれが腐って出たら、必ず道路まで、歩道も越えて出てくる長さなんじゃから。向こうの事業がしまわん間に手をかけなんたら、別の事業になるから思うて言うてあげたんじゃけど、どうも向こうはもう終わったみたいなんじゃけど、手をかけてねえみてえなんじゃけど。何か対応しますという話はもろうとったんじゃけど、全

く対応ができてなかったんじゃないかと思うんで。切ってないということ。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員、その件については、私が下山委員からお話を聞いて、建設課長にどういう対応をしていただけるかということで、枯れた場合、非常に危険があるということで、話がちょっと見えなかった部分もあると思うんですが、ふれあい公園のずっと下りてくる、桜が丘から下りてくる場所の歩道際に、松の木が電線にかかる部分があるので、それを切ると。それがまさしくもう枝葉がないんで、枯れる状況になるのは目に見えてるということで、それを下山委員から危険だという指摘がありまして、私も伺って、建設課長に一応相談をさせていただきました。その対策についても建設課長のほうで対応しますということを知っておりまして、その後ちょっと状況は確認しておりませんが、一応話は行ってるんで、すぐに倒れるということはないと思いますけれども、また確認をしておきたいと思えます。せっかくの御指摘をいただきましたんで。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 吉井のほうだったら、すぐ直接NTTに言うて、けりをつけさせるんじゃないけど、管轄が違うから口を出さんじゃないけど、まずそういうことをきちっと、向こうが業者じゃから、それも赤磐市の管理もやりよう関係の業者なんじゃから、そういうことがきちっとしてもらえんようじゃ困る。対応も言うたら、あんなもの1週間のうちに対応できるような内容のように思うんじゃないけど。まだあのときは事業をやりよう範囲じゃったんじゃないから、何でそれがきちっとすぐできるのか。もう今は終わってしもうとるから、今度新たな事業を起ささなんたら、向こうも会社じゃから、新しい枠をつくらにや事業にかかれんのじゃろうから、その辺がやっぱし赤磐市として対応が、そういうことをてきばきできとったら、恐らくあの事業の、要するに切って、除ける錢だけを増やせば済む話なんじゃけど、今度新たな枠の、赤磐市でも一緒だと思うんじゃ。新たな事業をするのは、また手が要るわけじゃから。何でそれがきちっとできるのかなと。吉井だったらすぐけりをつけさすけど、3日のうちにや。大抵してきとんじゃけど、何でこんなことを山陽の辺は緩いんかなと思うんですが、その辺のちょっと答弁をもらいてえ。

○委員長（佐藤 武君） 答弁は可能ですか。

○委員（下山哲司君） 赤磐市に関わるとる関係じゃからな、電線が。

○総務部長（入矢五和夫君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 入矢部長。

○総務部長（入矢五和夫君） お話は私も聞かせていただいとって、今委員長が申されましたように、建設課に話を通させていただいたということで、ちょっとそれ以降、総務部に連絡、お返事をいただいとってはいけません。申し訳ございません。建設のほうで対応いただいとるという状況でございます。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 産建を悪う言うんじゃねえんじゃけど、例え話をすれば、今の美岡線、高速をやりようるけど、5年前の瀬戸、稲蒔の開通式のときに、先方が挨拶で5年後には山陽道へ乗り上げますからと、こういう説明があつて、時期が来たけど、乗り上がらんから、事務所に電話したんですよ、工事事務所へ。そしたら、どうも申し訳ありません、今日5年延長が決まったんです。5年延長が決まったというて、あんたら情報発信がおかしいんじゃねえんかというてちょっと言ったら、申し訳ありませんということ。協力せえというときだけ協力させて、段取りをさせてくれと言うたら、段取りするように入れさせたり、ずっとしてきてるわけじゃけど、そういうことが向こうも行政、うちも行政。全員に知らしめんでもええけど、議員ぐらいにはどういう状況になったかというぐらいは知らしめてあげんと、議員やこう、何にも知らんのかというような話で終わってしまよるのが現実なんです。僕の場合はもう長年のあれがあるから、ルートですぐ電話して、どうなっとんならというて聞くから、いや、実はこうなんですというて説明をもらようるけど、例え話で言えば、苫田ダムができたら、苫田ダムの管理はどういうふうになりよんかというの、吉井から20人ほど視察に入って、工事が入る前、工事をし出して終わった後と3回行つとるけど。じゃから、ある程度いろんなことのあれをやりよんじゃけど、全くそういうことをやらん人は何にも知らないんじゃないか思う。赤磐市でどういうことがあるんか、こういうのが。それをするのは、やっぱし所管の担当がきちっと、せめて議員ぐらいまではどういう状況になりようるか、今赤磐市でやりようることにおいて、赤磐市の中で工事をやりようるわけじゃから、じゃからどういふあれなんかというぐらいの情報提供はやっぱしするべきじゃと思うんで。産建を悪う言よんじゃないんで。けど、それは行政としてもきちっとせにやいけんことじゃないかなと僕は思うとんで、聞かれたときに議員として答えようがないでしょう、一般の人に。じゃから、職員さんより恐らく議員のほうが一般の人と触れ合うのは多いと思うんですよ。職員さんは用事がなかったら触れ合わんのじゃから。じゃから、やっぱりそういうことがもう少し行政としてきちっとやっていただきたいなと思うて、その松の木も言ようるわけで、例え話で。あの松の木だけに特化して言ようるわけじゃないんですよ。どういう対応するかなと思うて見ようるわけなんです、私個人としたら。じゃから、それが全くそうやってできんのかなと思うて、情けない行政じゃと思ようるんですよ。公共的なんだつたら、もう私も一応議員やりようるし、政治活動もやりようるから、すぐ県なり誰へ電話して聞くんじゃけど、こうせえ言うてメールするわけじゃねえ。してもらうときには支所に言うて、支所から言うてくれえと言うんじゃけど、直接ほんなら県にああせえ、こうせえ言よんじゃないんです。じゃけど、そういう情報提供ができるもんはすりゃあええし、行政がそういうことをしてくれんこと自体が問題があるんじゃねえかと思うて、投げかけとるわけ。

○委員長（佐藤 武君） 再度、建設課へ確認をさせていただきます。また報告をします。

ほかにありませんか。

安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） ちょっと言いにくいんですけど、赤磐はどうも宣伝下手というか、アピール下手というか、ちょっと最近感じたのが2点あるんです。

これは、ある方に言われたんですけど、例のウクライナの避難民を受け入れるということで、山陽新聞あたりもほかの市町村が受け入れるというのを出されてましたけど、赤磐は載ってなかったと思うんです。その方が言われるのは、県住がいっぱい空いてると、あそこに受け入れさせてあげたらどうなんですか。県住だから赤磐市がやるということじゃないかもしれませんが、それを例えば赤磐市から県に要望したということをアピールできないのか。

もう一点が、例の成年後見制度の中核相談センター、市役所の入り口に一応看板といいますか、出していただいているんですけど、吉備中央町は立派な看板を作って、山陽新聞にでかでか載ってます。その吉備中央町と比較しても、うちも看板らしきものは出していただいているけど、非常に控え目で、山陽新聞さんに取り上げてもらうとかというのが、何かこう控え目だなと、実はその2点を最近感じたんですけど、そういったところをやっぴりもうちょっと積極的にアピールされたらいかがかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

県住のことは県のあれですから、直接赤磐市が云々ということではないかも分かりませんが、何かそういった機会を捉えて、やっぱりこの赤磐を外部に向けてアピールするのは、もっと積極的にされてもいいんじゃないかなと感じるんですけど、いかがでしょうか。

○総合政策部長（山本幸治君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山本部長。

○総合政策部長（山本幸治君） 貴重な御意見ありがとうございます。

ウクライナの関係につきましては、まず県で今回窓口の設置と、それから住宅の確保ということで、所管の国の部局と調整をしているということでございます。本市においても当然県営住宅がございますので、まず実際に避難される方の御希望とかマッチングが一番だと思っております。そういう御要望があった場合には適切に対応してまいりたいと考えております。

それから、アピール下手という部分につきましては、これは広く全般的な話だと思いますので、そういった部分について今後も留意しながら適切に対応してまいりたいと考えております。

○委員長（佐藤 武君） よろしく申し上げます。

ほかにないようですので、ちょっと私のほうから。

消防で説明がありました消防指令センターのパンフレットをほかの議員さんにも配付するというのでよろしかったですね。それから、定員管理計画についても、ほかの総務委員以外の議員に配付するというので御了承ください。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） ちょっと申し遅れましたが、こちらの移住のパンフレットとジオのマップも、ほかの議員さんにお配りしたいと思っております。

○委員長（佐藤 武君） じゃあ、これのパンフも配るということで報告しておきます。

それでは、ほかにはないようですので、以上をもちまして総務常任委員会を閉会いたします。

5月の委員会の予定をちょっと申し上げておきます。

5月18日水曜日の10時から予定しておりますので、予定してください。

以上で委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前11時18分 閉会